津田塾大学同窓会千葉支部 Andante

発行人：　津田塾大学同窓会千葉支部
発行責任者：井上友紀子（英大 19）
編集部：　木村真由美（国大 9）　丸杉明子（国大 2）
永沼洋子(英大 19)　野田由起（国大 5）
大庭洋子(英大 32)　（abc 順）
連絡先：　tsuda.20.21@gmail.com

吹く風が秋の訪れを感じさせる今日この頃です。１年遅れのオリンピックも終わり、相変わらず新型コロナウイルス感染者数に耳目を奪われています。同窓の皆様いかがお過ごしでしょうか。

年に一度の総会を「広い会場・密にならずに」何とかできないものかと模索しましたが、残念なことに今年度も中止することになりましたことをお知らせいたします（5 月の役員会にて決定）。

２０２０年４月から習志野・茂原合同地区は、この“Andante”を同窓生へのヴィタミン補給にと企画してきました。長引くコロナ禍、今まで見えなかった、また見逃してきた諸問題、日本社会に根づくジェンダー意識・女子の貧困、変化を迫られる日本社会の現状を、これからも「Tsuda スピリット」をもって、それぞれの立場で注視していきましょう。「変革を担う女性」の応援団でありたいと思います。

次年度からは市川地区が担当です。

千葉支部長　井上友紀子(英大１９)

千葉支部登録会員数　１４２９名（２０２１．４．１）

小平と千駄ヶ谷の今

Tsuda Vision 2030

— 変革を担う、女性であること —

弱さを、気づきに
強さを、分かち合う力に。
不安を、勇気に
逆境を、想像を灯す光に。

＊

当事者意識の強さと、責任感の強さは、津田塾生に脈々と受け継がれている特質であり、それが「担う」という言葉…
変革を「行う」でも「する」でもなく「担う」のです。

＊

５つのビジョン

I　「変革を担う、女性」の持続的研鑽を生涯にわたり支える。
II　すべての学生に「質の高い、濃い時間」を約束する。
III　社会に開かれた研究を推進する。
IV　同窓生と大学の連携を強化する。
V　前向きで、健全な経営を行う。

（母塾 HP より）

「梅五輪プロジェクト：まだ千駄ヶ谷キャンパスを訪れたことのない貴女に送る、キャンパスツアー動画」が https//youtu.be/B6JLqUZPs4E からご覧になれます。

TSUDA UNIVERSITY

脇山（若松）怜　（英大１１）　松戸

英字新聞と共に

１９６２年に津田を卒業した私は、緑したたるお寺の森近くの千葉の地に居を定めたことに感謝しながら、「時事英語を読む会」の教材探しと予習、細心の感染対策のもとでの対面授業を中心に日々を送っています。この会は私の勤務校のエクステンション講座に端を発し、その廃止後も市民の皆さんの熱意によって続いているものです。受講者は１０名、大手企業勤務をリタイアしたシニアの皆さんが、市の生涯教育センターに集います。現在は自粛中ですが、ランチタイムの歓談も魅力の一つで、もう何年も交流が続いている楽しい仲間たちです。

教材はニューヨークタイムズ（ＮＹＴ）、ワシントンポスト（ＷＰ）、フォーチュン、ガーディアン（英国）など。電子版が幅を利かせるご時勢ですが、やはりプリントエディションが使いやすく、最近はＮＹＴ国際版がジャパンタイムスと抱き合わせで販売されているので便利です。「トランプ・シアター」がやっと閉幕した後も世界は荒れ模様で、「和平プロセス」が行き詰まっているパレスチナ問題、激化する米中対立、米軍のアフガニスタン撤退とタリバンの攻勢拡大、各国が競う気候変動への取り組み、加速するＥＶ車への転換 etc.、 難問が次々と追いかけてきます。

東京五輪が２か月後に迫った時点で、私たちは開催決行を厳しく批判するオピニオンを二つの有力紙から読みました。NYT は “The Olympics are too risky. Call them off” と大見出しを掲げ、ＷＰ紙は “Baron von Ripper-off” （ぼったくり男爵）に屈するな、IOC はクーベルタン男爵の時代から今日に至るまで、主催国を食い物にして暴利をむさぼる「悪癖」があると断じて、日本よ、もっと主権を行使せよと強く呼びかけています。

このような晩年になって、英文報道だからこそ伝わってくる国際情勢の複雑さに多くを学び、仲間の皆さんと分かち合うことができるのは、振り返ってみると、その源は津田のころのクラブ活動にあります。当時、ＥＳＳ はディスカッション、ドラマ（シェ研とは別の現代劇）、年に１～２回発行の英字新聞 The Tsuda Bulletin の３つに分かれて活動していました。一橋の男子たちとの交流が少ない英字新聞はあまり人気がなく、数人で取材（学内ニュースだけでなく小平市のお祭りなども）、執筆、紙面の割り付けを一手に引き受けていました。そして締切が迫ってくると寮に泊まり込んで徹夜で追い込み作業をし、最後には当時のジャパンタイムズ社屋（内幸町）近くの印刷所まで出向いて、印刷の立ち合いをしたものでした。

輪転機から刷り上がってきた私たちの新聞の、インクの香りがなんと魅力的だったこと！ジャパンタイムズの社屋がなんと輝いて見えたことか！こうした単純な若気の至りが、記者から教職へと続く私のその後の人生へと道筋を付けたのでした。

古川（福元）まゆみ　（英大２６）　船橋

オンラインヨガレッスンのご案内

如水会館での第９回千葉支部総会で、「笑いヨガ」の講師をつとめさせていただいた昨２０２０年２月１５日からもう一年半以上になりました。

この夏は感染の更なる拡大が危惧されるほど長引いているコロナ禍の影響で、体調不良やストレスを感じていらっしゃる方も多いのではないでしょうか。

さて．昨年の４月から７月まで代々木のオリンピックセンターで開催を予定していたヨガのインストラクター養成講習会は、時節柄オンライン講習会に変更しました。これが、やってみると東北や九州など遠方の方も交通費や宿泊費をかけずに、自宅でマスク不要、感染のリスクもなく、当日の天候にも左右されずに参加できるという大きなメリットがありました。

そこで、コロナにも酷暑にも負けずに頑張っていらっしゃる皆様のお役に立てるようにZOOMを使ったオンラインヨガレッスンを始めましたので、ご案内します。

原則として月に4回、
第一週の日曜日と木曜日
第三週の日曜日と木曜日
毎回１４時：３０から１６：００
お問い合わせ
mayumifrkw@docomo.ne.jp
古川まで

レッスンでは、呼吸に合わせて無理なくポーズを取りながら、背骨や骨盤のゆがみを正し、肩こり・腰痛・膝痛などを改善。また、内臓の働きを高め、自律神経を整えて、バランスの取れた健康な心と体を目指していきます。体の硬い方も気持ちよくできるように、ほぐしや呼吸法、瞑想などを組み合わせた総合的なヨガを行います。

古川まゆみさんのプロフィール

１９８５年　沖ヨガ入門。総合ヨガやアシュタンガヨガを習得。 インドやヨーロッパ、アメリカでも研修を重ね、カルチャーセンター・スポーツクラブ・公民館などで、ヨガを通して女性や高齢者の健康支援を続けている。

また．これまで２００名以上のヨガインストラクターを養成して、総合ヨガの普及に尽力。ヨガ指導歴３５年。 NPO法人沖ヨガ協会認定講師

お便り　②

高橋（今井）直美　（英大４４）　茂原

中学校の今

中学校現場は相変わらずコロナ対策を講じながら、いかに学校行事等を行っていくか苦心する日々です。勤務校では、例年 9 月に体育祭を行っていましたが、近年の 9 月の尋常でない暑さに、今年は 5 月に「スポーツの大会」と銘打ち、距離をとった綱引きや身体接触のない形での玉入れ・リレー・長縄跳び等を行いました。

また、英語指導の話でいうと、今年度から評価の観点が４つから３つに変わるなど、大きく変化しました。その中でも特に「主体的に学習に取り組む態度」をどのように評価すべきか、現場の教員は頭を悩ませています。いずれにしても、語彙や文法だけでなく、「実際のコミュニケーションの手段として使える力」を身につけさせる指導のあり方を模索しています。

大沼みずき　（英大６６）　八千代

この２年

コロナ禍1年目の２０２０年は、さりげない日常がいかに大切な一瞬一瞬の積み重ねであるかを再確認しました。新型コロナウイルスの影響で、友人との集まる回数がめっきり減り、仕事ではテレワークが始まりました。

「おうち時間」が増えることで様々なことに目を向ける機会ができました。緑茶のおいしい淹れ方を研究したり、庭の植物の些細な変化に気づけるようになりました。忙しさに追われて忘れていた大事なことを、少しずつ取り戻す感覚も味わいました。

大学在学当時、恩師（村上健先生）がおっしゃった「時間と空間のイマジネーションを大切にする」という言葉。想像力を大切にすることで人は新たに気づくことができ、その気づきについて考えることで、生活に豊かさが生まれることが実感できました。

先行きが見通せない状況下で、「新しいスタンダード」に生活を合わせていくことにも少しずつ慣れていきました。暮らしに工夫を凝らすことで、より前向きに日々の生活を楽しむことができました。

１年半が過ぎた今、出勤形態が変わり、同僚と交代しながら出勤しています。 変異株拡大に伴い、 いつ自分が感染するか分からない中、都心への通勤に一抹の不安はありますが、自分にできる感染防止策に取り組んでいます。弁護士事務所なので、コロナ禍のまさに時代を反映する内容の仕事もあります。業界としてはコロナ前と比較して、法人/個人の破産案件や、雇い止め相談が増加しているようです。

最近「オイルパステル」という画材で絵を描くオンライン講座を受講し始めました。柔らかな雰囲気の絵が好きなので、少しずつ上達したいです！

福家（藤井）かをり　（数大３１）　市原

市原の「風呂の前里山」

縁あって、潤井戸地区の市津公民館で２０２０年１２月から働いています。 潤井戸の多くの家屋が被災した同年１０月の竜巻をご記憶でしょうか。初出勤は、屋根をブルーシートで覆った家がまだまだ多い時期でした。自然豊かな公民館周辺の観光スポットをご紹介します。

①　「風呂の前里山」
カタクリの自生地があります。自然のカタクリを保存しているので人工的なもののような派手さはありませんが、春先には近郊からカタクリの南限地を見学者が訪れます。カタクリが終わると引き続き、キツネノカミソリなど夏の野草が楽しめます。（公民館から車で５分）

②　「市原みつばち牧場」
東京ドーム３つ分もある広いお花畑がとても美しい場所です。耕作放棄地を再開発中で、四季折々のお花を眺めながらおいしいソフトクリーム（はちみつかけ）をいただくことができます。今はできませんが将来的には、自前のはちみつが取れる牧場にしたいそうです。（公民館から車で１０分）

③　「道の駅ながら」にもお寄りください。スーパーでは手に入らない、美味しい珍しい野菜が購入できますよ。

カタクリ

キツネノカミソリ

西出（中村）敏子（英大２１）　千葉

・入念に蕗の皮剥く少女かな
・舞浜や潮のきらめき春の風
・桐の花屋根より高き旗日なり
・夏座敷二十四人のいとこたち
・夜半覚めて眠れぬままに時鳥
・千葉に着きほっとしている夏電車
・秋空を引っくり返す鯱の腹

句集「山帰来・第二巻」より
群丘水木（俳名）

穴見まりえ　（英大 70）　習志野

大学で得た最高の宝物、それは『友人』に尽きます。自分に自信のなかった私を温かく受け入れ、私の良い所を見つけてくれました。

視座が高く、確固たる目標を持ちながら日々を生きている友人達とお互いに高めあえたおかげで、単に遊ぶだけで終わる四年間にはならず、津田塾独特の居心地の良さに救われました。

時代が変わろうとも、不変な津田 spirit を持つ学友達と、より良い日本を創っていきたいです。

吉田（砥上）尚子　（数大２４）　市原

今思うこと

コロナウィルス流行拡大のせいで、できないことが沢山です。その中でやれることを探しています。先日は野村萬斎の狂言を市民会館へ見に行きました。笑いは大事です。運動はもちろんのこと、ヨガは先生の代理で講師をしています。不要不急の考え方は人によって色々ですが、私は予防策を講じながら、引きこもりにはならないで活動していこうと思っています。

ワクチンの効果は今ひとつ疑問です。ワクチン接種が済んだからといって、コロナに感染しないわけではない。逆に他の人へうつすような行動にならないかと心配です。秋になってワクチン接種が進んだ頃にまた感染拡大が起こらないことを願っています。

奥田（森下）美智子　（英大 18）　八千代

『八月の梅』千葉支部に

白梅寮で 2 年近くご一緒した 4 人姉妹同様の 1 人（数学科）が、仙台辺りで話題になっていたこの本を中味も見ず“アマゾン”で購入。厚い本なのでギブアップして次の人へ。2 人（英文科）はすでに原書で読んでおり、最後にレターパックライトで私の所へ。

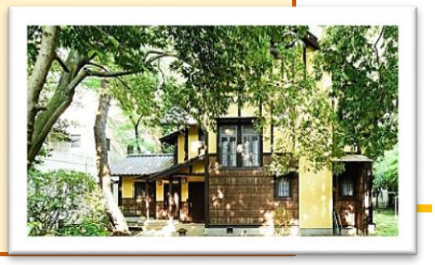
外国人の見た日本・原爆・古い習慣・言い伝えと、盛りだくさんのように思えましたが、ともかく読破しました。ちょっとミステリアスな個所も。映画化の話もあるとか。

５０年以上交流の続く皆で相談の結果、福島→小平（元学長）→大阪（訳者と同期）→千葉とめぐったこの本を千葉支部に寄贈することにしましたのでよろしくお願い致します。

貸出ご希望の方は
tsuda.20.21@gmail.com へ

（２０２２年３月末日までの連絡先）

（小説の舞台３号館の今）→



『八月の梅』は１９６５年当時津田塾大学で教えておられたアンジェラ・D - ガードナー先生による、津田が舞台の恋愛小説です。訳者は岡田(加藤)郁子さん（英大 17）。

大学の構内や玉川上水脇の風景描写も美しく懐かしい。具体的な地名は記されていませんが、ヒロインが恋人と房総半島の海辺を訪れる場面もあります。

彩流社(2019. 1)　￥３，０００＋税

松澤（佐藤）妙子　（英大１２）　流山

そ　ら　豆

風薫る５月。南房総市の６０代の教え子から箱一杯のそら豆が届いた。送り主は市川にある県立国府台高校で私が初めて卒業させたクラスの一員だった。彼女は松戸市の小学校の教師になり、３人の子どもを育てながら定年まで勤め上げた。１歳年上で中学校の教師だったご主人は５０歳代から教師の傍ら松戸から南房総市に通い、米作りを始めた。２人は定年後数年して南房総市に住みつき、本格的に農業に取り組んでいる。いまでは「道の駅」に野菜類を出荷するほどの腕前になっているとのことである。

去年（２０２０年）の３月２日、安倍首相による全国一斉の休校要請があった。あまりの突然のことで、小学校から大学までどの学校からも卒業式ができないという嘆きの声が上がったのはまだ記憶に新しい。

その３月下旬、私は恐る恐る四国の高松に飛んだ。法事に出なければならなかったのだ。空港からバスに乗ると、その沿道に紫色の可愛らしい花をつけたそら豆を目にするようになった。どの畑の作付けも家庭用のそら豆と思われる程度の広さであった。ああ、懐かしい景色だなあ、と思わず声がでた。

高松は「さぬきうどん」で有名だが、醤油豆も名物である。子どもの頃にそら豆を緑色のまま食べた記憶といったら、母が押し寿司にしてくれたことくらいだ。大抵は硬いそら豆を煎って食べるか、醤油豆にして食べるかだった。そら豆はサヤが黒くなるまで畑におき、それを収穫する。かちかちに乾いているから保存もきく。乾いたそら豆を焦げ目がつくまで煎り、煎りたての豆を甘いだし醤油の中にさっといれる。豆はシュッという音をたてて鍋の中に沈んでいく。そして、柔らかくなるまで待つ。それが醤油豆である。やや硬い醤油豆がいいか柔らかいのがいいかは、まさに家庭の味である。家での何かの行事や地元の氏神さまの行事などには欠かせないものだった。

そういう家庭の醤油豆が今でも続いているかどうかは知らない。バスから見たそら豆は、もしかしたら醤油豆用ではなくてビールのつまみ用だったかもしれない。ともあれ、高松の土産物店には美味しい醤油豆が並んでいる。そのそら豆が房総の地で栽培されているかと思うと嬉しい。

流山市に住み始めて４０余年。とっくに地元の人間になってしまっているが、ふとした時に１８年しか住んでいない故郷を思い出す。故郷のニュースはなぜかいち早く目につき、見たり読んだりする度に喜んだり心配したりする。つくづく不思議な感情だと思う。

志村（山口）洋子　（英大１２）　南房総

お米作ってます

今年８０歳になりました。３０年前から都合がつくときに週末に来ていた、連れの住むこの南房総で主に稲作をして過ごしています。5 年間の嘱託を 65 歳で終えてから住所もここになりました、まず初めにしたことは運転免許を取ったことです。「どうして東京で取ってこなかったの」、「オートマの方が便利だよ」、「路上に出たら安心な運転だね」、「ブレーキってものもあるんだよ」、「後ろの車を先に行かせましょう」と指導されながら、マニュアル・普通車で取得、幕張の筆記試験会場で電光掲示板に番号が点灯した時はなかなかうれしかったです。

うちにはマニュアルの軽トラ１台で、田や畑では「ちょっと動かしといて」と他の人の軽トラも動かすことが間々あります。認知検査付き高齢者講習も来年で３回目、来客にはお一人までなら、と最寄り駅に迎えに行きます。田舎道の坂を上る家なので、坂道発進は割合得意です。若葉のマークの時は出合う車、牛糞を運ぶ車でさえ必ず後退してくれました。近頃「うまくなったね、速いね」と秘かな助言がありました。

田んぼを２反くらい借り、手植え、手刈り、天日干しでお米を作っています、１０年以上前イノシシ出没の初めの頃は「うちにも来た」なんて、自慢ではないけれどちょっとそんな風な、“話題の仲間に入れる”感じでしたが、とうとう去年は最悪、一枚の田は収穫無しで、残る一枚は４分の１の収穫でした。そして周辺全体で防護柵を立てることになり、今年はフェンスがぐるりと張り巡らされています。今は苗箱を田んぼに移してのプール育苗中、年齢を考えて、一日にはかつての半分以下の労働に減らし、ほとんど毎日田んぼに出かけ、働いて、お茶して戻ってきます。周りでアザミが元気に咲いています。

利用する内房線は１時間に１本程度、単線、無人駅だらけです。車で１０分、道の駅「ローズマリー公園」辺りで時々海を見ます。

家は海抜９０メートル、台風の時は一晩避難所の公民館で過ごしました。シュラフを持っていき大会議室で寝ていると、「あれ良いね」とシュラフをほめられました。ワンダーフォーゲル部での時のように潜り込んで、窓の外は台風ですが、他の人もたくさんいてとても安らぎました。

玫瑰（はまなす）や今も沖には未来あり
中村草田男

中村（川崎）敦子　（国大５）　鴨川

近況　―　映画・本・世界

ずっと引きこもっていて、面白い話題は少しも提供できませんが、近況をお伝えします。

親をすべて見送り、娘の出産後の世話も終え、パートの仕事をちょうど辞めたタイミングで、コロナ禍に突入。あり余る時間を、ドラマ・映画・読書に費やしました。心に残るものをいくつかご紹介します。

まずは「愛の不時着」。あり得ない設定ながら、最後にはハッピーエンドになるスッキリ感。何よりも北のイケメン将校の優しさ・強さ・誠実さに胸キュン必至です。脚本・配役の妙に感心しました。殺伐とした現実を忘れさせてくれました。

「きっと、うまくいく」（２００９年公開のインド映画）インド屈指のエリート理系大学に在学する3人の引きおこす騒動と10年後を描く青春もの。当時のインド社会の、エンジニアを目指すことへの圧力の強さに驚きます。笑いあり、涙あり、（もちろんインド映画ならでは踊りと歌もありますが）、見終った後に清々しい元気をもらえます。未見の方には、強くおすすめします。

本では、カナダの作家マーガレット・アトウッドの「侍女の物語」と 続編「誓願」。キリスト教原理主義者たちの支配の下、監視と処刑におびえ、司令官の子を産む役割の「侍女」として生きる女性を描くディストピア小説です。アメリカでは２０１８年にドラマ化され社会現象にもなったとの事で、ご存知の方も多いと思います。

ちょうど読了した時、アメリカで連邦議会議事堂への乱入事件が起こり、背筋が寒くなりました。ミャンマーのクーデターをはじめ、暴力・武力による人権侵害は、ほんの隣にあるのだと。　議会が銃撃戦で乗っとられ、女性がカードで支払いができなくなる、という場面から始まるのですから。「人権」、特に「女性の人権」は座視できない問題なのだと、改めて強く感じました。

ガザの空爆の映像を見ると、どうして人間は戦争をやめることができないのだろうかと悲しくなります。引きこもりながらも一日三回食べることができ、屋根のある家で布団に休める幸せを毎日かみしめています。

ワクチン接種も端緒についたばかりです。皆様もくれぐれもお気をつけてお過ごしください。

２０１９年夏、ラグビーワールドカップ東京大会間近の東京丸の内仲通り。コロナ禍の半年前でした。（撮影YN）

特別寄稿　「女性活躍と日本企業の現状打破」

2021 年 5 月 28 日　　児玉万里子

児玉万里子さんのプロフィール
財務アナリスト。 1973 年津田塾大学国際関係学卒。株式会社三國事務所 にて債券格付けなどに従事した後、2010 年に独立。フリーのアナリストとして財務諸表に基づく内外企業の分析を『週刊エコノミスト』誌など経済誌に執筆中。ほかに大学、ビジネススクール、社会人講座、 等で企業や産業の動向を講じている。
『社債格付けの知識』（有斐閣）、『一目でわかる会社の格付け』 （宝島社）など著書多数。（2021.5.28）

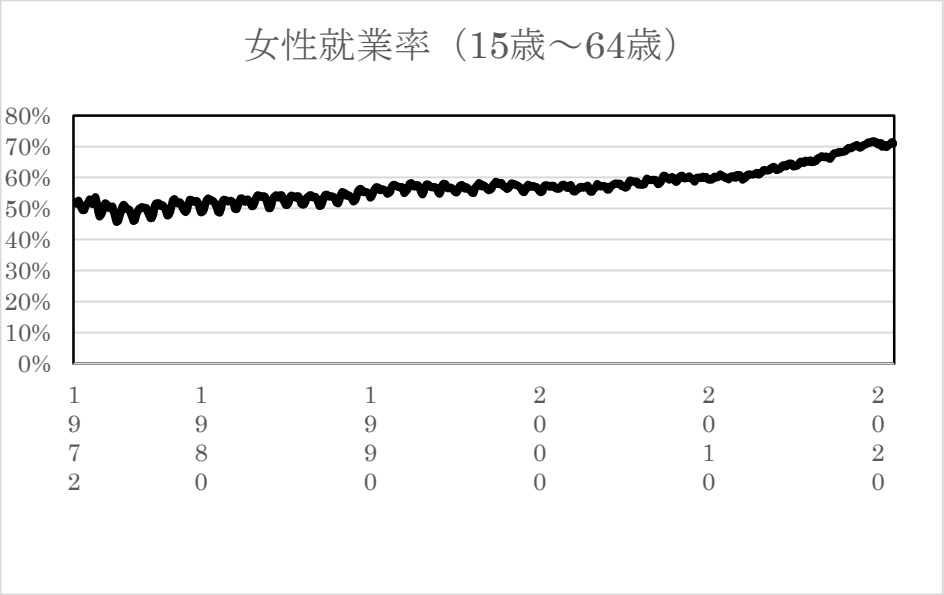
【女性にとって、チャンス到来！】

ことし 2 月、東京五輪・パラリンピックの組織委員会会長の発言が大きな反響を巻き起こした。「女性メンバーが多い会議は時間がかかる」というものだ。男性メンバーだけなら異なる意見が出にくいので手早く結論に達するというわけだ。答えが自明であり会議はそれを確認する場に過ぎないのなら、議論の必要もなく、手早い進行は効率がよい。

1980 年代ごろまで、日本の企業は欧米企業に追いつき追い越すことを目的にしてきた。技術も製品もお手本のある自明のものであり、効率の良さこそが身上だった。しかし、今日、日本の企業に求められているのは、イノベーション（革新）である。新たな製品、新たな産業を生み出さねばならないのだ。そして、多様なバックグラウンドの人たちが異なる意見をぶつけ合い、アイディアを出し合わない限り、イノベーションは生まれにくい。

【女性の就業人口の増加と就業率上昇】

（図表 1）



（注）労働力調査より作成。

（図表 2）

年齢階級別	女性就業率		男性就業率	
	1972 年 7 月	2021 年 3 月	1972 年 7 月	2021 年 3 月
15 歳以上	48.2%	52.0%	81.9%	68.9%
15 歳～64 歳	52.0%	71.1%	85.0%	83.6%
15 歳～24 歳	50.2%	46.8%	58.4%	43.0%
25 歳～34 歳	44.2%	80.1%	96.6%	91.2%
35 歳～44 歳	59.0%	76.3%	97.2%	93.7%
45 歳～54 歳	61.4%	78.9%	95.7%	93.3%
55 歳～64 歳	45.9%	67.6%	85.9%	87.3%
65 歳以上	16.4%	18.0%	49.0%	34.1%

（注）労働力調査より作成。

日本の女性就業者数は、2019 年 10 月に 3037 万人のピークに達し、その後は 3000 万人前後で推移している。図表 1 は人口全体に対する女性就業者数の比率を表す就業率である。

1972 年には 52%だったが 2018 年 8 月に初めて 70%に達し、2021 年 3 月は 71%。ちなみに、男性の就業率は 80%前後でほとんど変わっていない。

この間、年齢階級別では「25 歳～34 歳」において女性就業率が大きく上昇している（図表 2 参照）。

1972 年時点では、結婚、出産を機に仕事を辞める人が多く、「25 歳～34 歳」の就業率は落ち込んでいた。出産・子育て期に女性の就業率が下がる「M 字カーブ」である。

ところが、2021 年にはカーブの落ち込みはなくなっている。学業を終えた女性が職場に加わったこと、仕事を辞めずに働き続ける女性が増えたことなどが理由だ。今日では、25 歳から 54 歳では、女性の 8 割前後が職業を有して働いていることになる。

こうした女性たちが職場において男性同様の力を発揮できているかというと、疑問は残る。日本のさまざまな仕組みにおいて、男女間の格差はいまだに少なくないからだ。たとえば、男女間の格差を示すジェンダーギャップ指数（「世界経済フォーラム」発表、2021 年 3 月）では、格差の小ささで、世界 156 か国中、日本は第 120 位、経済活動に限っても第 117 位であり、日本は男女間格差が大きい国の代表格になってしまっている。